

2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年6月23日(日)	実施ブロック	第2ブロック	参加人数	22名
会場	葛飾区東金町運動場 多目的広場				
大会名	ブロック選抜 トレーニングマッチ				
指導員名	片岡利文、直井竜二				

指導会当日の概要

- ・日曜日の夕刻からのスケジュールに、天候も時々雨が降る状況の中、22名(女性2名、ユース2名含む)の参加を頂き、実戦形式の研修会を行った。
- ・当日は、技術指導部の協力のもと、TOMAS選抜大会前の強化試合を使用した研修形式で行った。
- ・東京都少年サッカー連盟審判部より、片岡氏・直井氏の2名の指導員の方をお招きして、4試合を担当する審判員と共に、打合せから試合後の振り返りまでの、ご指導を受けた。

ブロックコメント

- ・2Bは、江戸川区と葛飾区で構成されておりますが、リーグ戦の消化及び、各区の大会実施等の関係で、ブロック全体・2区同時での研修会実施が日程的に難しい状況にあります。
- この為、今回の研修会も葛飾区主管にて葛飾区所属チームを主体として、江戸川区からは希望者のみ参加との形式をとり実施致しました。次回は、江戸川区主体の研修会を実施出来ればと思っています。
- ・参加審判員のレベルは、3級上級者から4級取得したばかりの始めて審判をされる方までと範囲が広く、指導しにくい面も多かったと思いますが、研修参加者は、片岡氏・直井氏お二人の指導者の話しを積極的に聞き、内容の濃い研修会が実施できたと思っています。
- ・片岡氏・直井氏には、天候の悪い中ご対応頂き、感謝申し上げます。

指導員コメント

- 〈直井〉各ブロック選抜チームによる、トーマスカップ前週のテストマッチを審判研修の場としたところはとても良い計画だと思いました。
- ・3ピリオド制で、1試合を3名の審判員で担当し、各ピリオド毎に主審、副審をローテーションで行い、研修者が主審、副審を経験できたところは良かったと思います。
- 〈片岡〉幅広いレベルの審判員でしたが、参加者の前向きな姿勢が伝わってきました。
- ・質問も多く、様々な意見交換ができたのが良かったです。
 - ・今回のような研修の継続は必要と感じました。

指導会写真



2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年4月6日(土)	実施ブロック	第4ブロック	参加人数	93名
会場	zoom形式				
大会名	開幕前審判研修				
指導員名	平瀬 まさみ				

指導会当日の概要

- ・少年連盟からの挨拶:村上部長
- ・①2023/24競技規則の改正:平瀬
- ・②1人制審判法:平瀬
- ・4B大会の競技規定:4ブロック審判部長川島氏
- ・質疑応答
- ・閉会挨拶:4B委員長・副委員長

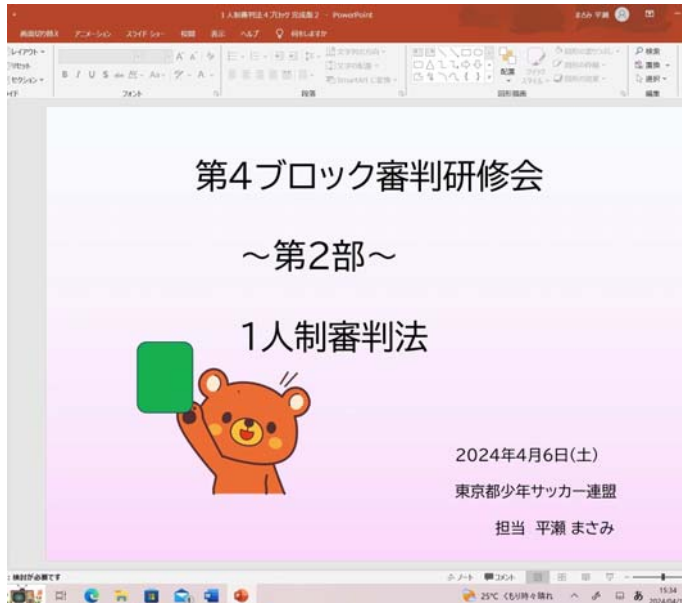
ブロックコメント

- ・村上部長の挨拶で研修を開始、講師平瀬役員よりブロックの審判方法1人制審判をメインの研修を行って頂く。
- ・ブロック90名以上の方が参加、とても有意義な講習会となりました。
- ・お忙しいところありがとうございました。

指導員コメント

- ・4Bは、今後も1人制審判法で運営する試合が多数あるとのことで、1人制審判法について講義しましたが、前向きに聴講していたと感じました。
- ・益々の発展が期待できそうです。

指導会写真



2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年9月16日(月・祝)	実施ブロック	第4ブロック	参加人数	22名(女性U-18・1名)
会場	杉並区下高井戸運動場				
大会名	杉並区区民大会				
指導員名	川澄正史、直井竜二				

指導会当日の概要

- ・杉並区民大会QF、SF、F計7試合のうち、QFとSFの6試合の振り返り指導を実施した。
- ・指導対象は4級審判員の初心者がほとんどであり、担当経験は主に1人制とのこと。
- ・指導員2名はQF2試合を続けて観戦し、担当審判員8名を対象に2試合分を振り返った。
- ・続けてSFの観戦、振り返りを実施した。なおSFの振り返り時間に被った決勝戦はベテラン指導員が務めた。
- ・6年生8人制、試合時間は30分間、2面同時進行。4ブロックの要望により、主に副審の方を指導した。

ブロックコメント

- ・当日は14名(10チーム)の審判員が参加、全員が4級資格を持つ審判員で、パパ審判員からユース審判員と幅広い年齢層で実施。
- ・研修内容は、担当試合後の振り返りを実施する内容で、振り返り以外の場でも質疑応答が活発に行われました。
- ・研修後「非常に良い研修でした」とのコメントもいただき、今後も継続して開催していきたいと考えています。
- ・川澄さん、直井さん、当日はご指導ありがとうございました。

指導員コメント

- ・審判部員方々の入念な準備により、参加者に有意義な研修会になったと思います。
- ・研修審判員の方々は、開会時の自己挨拶はじめ、自身の実技、振り返り、担当外の試合観戦等、真面目かつ積極的に取り組まれていた。
- ・チームで行動し、指導員への質問も多く、得るものが多かったらうと感じた。
- ・ほぼ全員にモチベーションの高さ、審判センスを感じた。
- ・試合担当数、観戦試合数を増し、審判経験値アップに努めて頂きたい。
- ・審判チームの中に受講者である4級初級者審判の他、日頃第4ブロック所属審判として活動している経験豊富な方々が加わりアドバイスやフォローをしていたので、受講者が日頃担当するよりハイレベルな試合であっても試合を壊すことなく、受講者は新たな気づきが沢山あったのではないかと思います。
- ・今回の研修では、一人審判から三人(四人)審判への移行を踏まえての研修とのことでしたので、主審に対しても副審に対しても、特にタッチジャッジのときにお互いにアイコンタクトをとりそれぞれの判断を確認して正しい判定を下したり、指し違いを防止することで審判団への信頼を高めることができることを説明し、受講者の理解を得られたと思います。

指導会写真



2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年7月7日(日)	実施ブロック	第13ブロック	参加人数	50名
会場	清瀬市コミュニティプラザひまわり				
大会名	13ブロック審判講習会				
指導員名	川澄正史、平瀬まさみ				

指導会当日の概要

- ・三審制移行を検討するにあたり、副審任務理解のための座学・実技研修を実施。
- ・13時30分から15時:①JFA SQUARE内のビデオを視聴しながらの解説、②審判員への実践的ガイドラインを利用した任務の説明、③試合における副審動画を用いた解説。
- ・15時過ぎ～16時:グラウンドにてシグナルの練習、副審にシャドウ数名を付け、ラインキープから得点・CK・GK・タッチジャッジの手続きを反復練習。
- ・16時過ぎ～16時30分:質疑
- ・16時30分～16時45分:ブロック審判部役員との意見交換。

ブロックコメント

- ・今回の講習では座学において、ルールブックに書かれていない事案への対応や画像を使用した説明が判りやすく、参加者も興味深く受講していた。
- ・グラウンド実習は基本的な旗の動かし方、ラインキープの方法、間違いやすいポイント等をわかりやすく説明して頂き、参加者も学習になっていったと感じている。
- ・終了後の反省会においては、このような講習会の実施が審判員の増員・育成に役立ち、3審制への各チームの意識醸造につながるとの意見が多く出ており、13ブロックとしても、継続的に審判育成プログラムを進めていく考えである。

指導員コメント

- ・高気温のため実技時間を短め、座学を長めとして実施した。
- ・時間的理由で、少年副審任務の特徴とその実践方法に焦点を当て説明した。
- ・受講者は集中して参加されたので、効果的・効率的な説明が出来た。
- ・実技は当初予定よりも短くはあったが参加者は暑い中、しっかりと取り組まれた。
- ・実際にフィールド内の動きを見て、体を動かすことで、シグナルや位置取りなど、すべきことの基本事項を理解されたと思う。
- ・今回は初心者・初級者向けの講習であったが、次の機会にはより実践的な内容を学びあう機会があるとよいと思っています。
- ・初心者、初級者を対象ということで、川澄氏により座学を進めていました。
- ・競技規則に書かれていない部分にも触れながら、競技規則に書かれていることを分かりやすく説明されていたので、受講者も熱心に聞いておりました。
- ・その後の実技と言うことで、聞いたことをその場で動いて学べたので、頭に入りやすかった様子でした。
- ・猛暑の中、皆さん笑顔もある中、熱心に取り組んでいました。
- ・今後は継続的にそして、今度は実践形式で行えればと思います。

指導会写真



2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年11月23日(土)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	37名(含女性1名)
会場	小川西グラウンド				
大会名	JSC大会				
指導員名	武山茂、細山保人				

指導会当日の概要

- ・2面を利用し、各試合を指導者が観て簡単にアドバイスをを行う形式。
- ・次以降の審判員はグラウンド外で指導員の近くに集まり、指導員の解説を聞く形で進行。
- ・2指導員で10試合を担当。その後の試合は14ブロックの審判指導員にて継続して実施いただいた。

ブロックコメント

- ・今回のテーマに基づき、参加者全員が各人のレベルに合わせ、新たな「気づき」を得て、素晴らしい研修となりました。
- ・武山氏と細山氏が試合中の主審・副審の動きについて、随時、待機メンバーへ助言を行っていただき、終始、緊張感あふれる良い雰囲気でした。
- ・37名参加者全員から感想が寄せられ、こうした機会を増やして欲しいという声を多数いただきました。
- ・ブロックとして“現場の声”に応えられるよう、頑張っています。

指導員コメント

- ・参加した審判員は4級審判員、および経験が多いとはいえ3級審判員も多く、基本的な動きを試合を通じて実践する重要性を伝えることに留意した。
- ・今後も試合のなかで指導から学んだ内容をひとつでも挑戦し続けていただくことで、スキルアップの可能性は十分にあると思います。
- ・参加者は真剣に試合に臨んでいただきました。
- ・今回は『争点の近くで』のテーマを意識して、どの審判員も良く走ってくれていました。
- ・主審、副審のアイコンタクトはお互いが意識していない場面もありましたが、努力して見ようとする姿勢は感じられました。
- ・全体的にとっても意欲的で今後もこのような会が実施出来たら良いと思いました。

指導会写真



2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年10月26日(土)	実施ブロック	第15ブロック	参加人数	11名
会場	S&Dフィールド福生				
大会名	座学・実技指導				
指導員名	片岡利文、平瀬まさみ				

指導会当日の概要

- ・最初に座学講習を実施した後、フィールド上で実技講習を実施した。
- ・座学講習は、第4の審判員の役割とファウルの見極めの2本立てで行った。
- ・第4の審判員の役割では、試合開始前から試合中で必要な確認や監視事項をアニメーションを使って解説した。
- ・ファウルの見極めでは、ファウル判定に必要な考慮ポイントの説明後、映像を見せながら受講生に答えを出してもらいつつ、判定について分かりやすく解説した。

ブロックコメント

- ・今回の審判育成指導会では、帯同審判員の課題である主審のファウルの見極めに加えて、第4の審判員の役割に関する指導をお願いしました。
- ・参加者が少なく不安でしたが、少ない人数であるが故にきめ細かな対応が出来たことで、充実したものになりました。
- ・育成指導員として来て頂いた片岡副部長と平瀬役員による丁寧で分かりやすい指導により、参加者は真剣に取り組むことができました。
- ・次回以降、参加者を増やすために、開催方法や時期を見直していきます。

指導員コメント

- ・参加人数が少なかったが、参加者は座学と、実技を通して、真剣に楽しそうに学んでいた。
- ・参加者同士の意見交換も活発に行われていた。
- ・研修会後も、やり始めたばかりです…と何点か質問を受けました。
- ・前向きな気持ちに感銘を受けました。有意義な研修会になったと思います。
- ・少人数であったために一人一人が積極的に意見交換ができており、熱気のある研修会となった。また、質問などその都度、出てきておりとても雰囲気の良い研修会となった。
- ・参加者の前向きな姿勢もあり、研修会の時間が短く感じた。今後もこのような研修は、継続できると良いと思いました。

指導会写真

